

「ならなぎ」活動報告

報告者： 玉尾 洋一

日時	2025年6月8日（日） 13時～15時15分	天候	曇り 時々雨	歴史文化チーム定期活動 ならまちセンター
案内団体または催事名	歴史文化チーム定期活動 第12回目		人数	大人： 15名

(敬称略)

出席者：吉川、義田、木邨、玉尾洋、中澤、山口、池田、奥山、北川、寺尾、山岡、豊田、中谷
村上、玉尾ひ

実施内容：13時～15時15分 座学

○興福寺五重塔保存修理中の見学会に参加。その報告をした。

<https://naranagi.jp/kaihatsu/gojuuhoukoku.pdf> 報告（玉尾洋）

<https://naranagi.jp/kaihatsu/ygojuuhoukoku.pdf> 報告（義田）

★P181～第4章聖武天皇の夢、東大寺

中澤講師

・東大寺は平城京の外に位置している。聖武天皇は遷都を繰り返した。740年恭仁京、742年紫香楽宮、744年に難波宮の後、745年平城京に戻る。大仏造立は紫香楽宮で始まったが、いろいろ問題が起り、結局平城宮に移り、造立した。東大寺の正式名は「金光明四天王護国之寺」です。造営組織「造東大寺司」が設立され、40年以上の長きにわたり存続し、巨大伽藍の造営が続けられた。春日大社は藤原の力で速やかに復興が図られたが、東大寺は重源が勧進役になるも、資金がなかなか調達できず、苦しんだが、源頼朝がパトロンとなり、ようやく完成の目途が立った。

・東大寺の門

南大門、中門、軒唐門があり、それぞれ2重門、楼門、八脚門という。

南大門は2層目まで1本の柱で立ち上がる「通柱」で19mあり、それを18本使っている。庇を大きくするため、組物は六手先で「挿肘木」という今迄使われてなかった技法を取り入れ、三手目と五手目に「通肘木」を横断して構造上強固なものにしています。今まででは外観のプロモーションや優美なデザインが優先していましたが、大仏様は強力な構造を前面に出して、これを美しさに見せています。六手先は分かりづらいが、皿斗を数えることで分かる。

・門の種類





- 次回 7月13日 13時 音声館 寺院建築入門 最終回
P. 207 大仏殿～

(気になった点、引継ぎ事項)